

## 戦略企画雇用経済常任委員会活動評価総括表（案）

資料 1

### 1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- (1) 年間活動計画の進捗度
  - ・何ら計画と食い違うことはなく、適切であった。
- (2) 委員会運営の円滑度
  - ・正副委員長の適切な運営で順調であった。
- (3) 委員間討議の充実度
  - ・委員間討議は、ある委員の発言に対して「賛同する」「いやこういう考え方もある」と議論し、コンセンサスを得ていくものであると思う。やり方としては、委員長が課題を出すか、委員間で手を挙げて課題を提起するのだが、なかなか難しいと思う。
  - ・委員長が「執行部提案のこの点について討議します。」とはなかなか言えない。
  - ・例えば無理をして議員間討議することはできるが、そういう流れにはなっていない。
- (4) 県内外調査の充実度
  - ・十分に県内外調査先を選定し、それを受けての実りある視察で、活用できた。
  - ・視野を広げられてよかった。県外調査はどう利用できるか事前に考えて選定することも必要。
  - ・県外調査は、県内の施設を頭に描きながらやれたらよかった。

その他

  - ・いろいろな評価の視点を消化し評価をしていくと、評価はよくなっていくが一方で自由度がなくなる。

### 2 各委員（理事）の評定の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	4.3
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。	4.6
	委員会で十分な議論をしましたか。	
	委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。	2.6
	議員間討議を十分に行いましたか。	
	議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
	〔 委員会としての政策立案のプロセス・手法として活用すべき 〕	

項目	評価の視点	平均点
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [ ]	3.7
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) [ ]	3.9
(6)調査・審査結果の施策への反映	調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。 [ ]	/

評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)  
 各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。